

## 令和7年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	・自立と社会参加を 目指して、一人ひ とりの教育的ニー ズに応じた教育を 推進し、「生きる 力」「主体性」を 育てる確かな学び を積み上げる授業 実践に取り組む。	①自己選択・自己決定 できる力を育む授業 を実践する。  ②意思の表出・選択を 引出す授業実践に取 り組む。ICT機器等を 有効的に利活用す る。	①主権者教育、防災教育 等の授業を中心に、自 己選択・自己決定する 場面を設定する。実態 に応じた手段を提示す る。  ②意思決定(表出)のため に、ICT機器等を活用 し、児童・生徒の表出 を引出す。	①授業の中で自己選択・ 自己決定をする場面を 設定できたか。また、 実態に応じた手段を提 示できたか。  ②意思決定のために、 ICT機器等を有効的に 活用し、児童生徒の表 出を引出すことができ たか。					
2	(幼児・児童・) 生徒指導・支援	・児童・生徒一人ひ とりの夢や希望の 実現に向け、たく ましく生きるため の多様な教育的ニ ーズに対応した支 援・指導を組織的・連携的に行 う。	①自己理解・他者理解 を深め、良好な人間 関係を育む指導・支 援を充実させる。	①他者理解に向けた学習 内容やグループ編成等 を工夫し、授業を展開 する。	①学習内容やグループ編 成等を工夫し、授業を 展開できたか。また、 児童・生徒の行動や意 識の変容は見られた か。					
3	進路指導・支援	・小・中・高を通し た一貫した教育を行 い、一人ひとりの障 害の状況等に応じた就 労支援・進路指導の充 実を図る。	①教員対象進路学習会 等を充実させる。  ②進路説明会、進路面 談等を充実させ、児 童・生徒や保護者が 理解を深められるよ う、関係職員が連携 して取り組む。	①学習会の実施時期の検 討や見学先等を見直 し、学習会・見学会の 回数や分野を広げ、教 員の理解を深める。  ②卒業後の生活等の情報 発信をし、教員も共に 学ぶ。主体的な進路選 択ができるような働き かけを学部と分掌が連 携して取り組む。	①教員の進路指導の理 解は深まったか。  ②卒業後の生活等の情報 発信ができ、教員も共に 学べたか。主体的な 進路選択に繋がる働き かけを学部と分掌が連 携して取り組めたか。					

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共生社会の実現に向け、地域と連携・協働し教育活動の充実を図る。</li> <li>また、センター的機能を發揮し、教育的ニーズに応じた効果的支援の推進と共に、交流及び共同学習等を通して、児童・生徒の相互理解を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の人材や企業等を活用し、地域と協働し、授業の充実を図る。</li> <li>②地域の学校との交流及び共同学習を通して、児童・生徒の主体的な活動や関わりを推進する。</li> <li>③地域のニーズを踏まえた学校情報を発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の人材や企業等を積極的に活用し、効果的な授業作りを推進する。</li> <li>②交流相手と年間を通して、定期的な交流及び共同学習を計画する。主体的な関わりや相互理解が深まるような活動を工夫する。</li> <li>③地域のニーズと学校の役割を明確にし、地域のニーズに応じた内容や方法を考え、効果的な情報発信を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①地域の人材や企業等を積極的に活用し、効果的な授業作りはできたか。</li> <li>②計画的に定期的な交流ができたか。児童・生徒の主体的な関わりや相互理解が深まるは見られたか。</li> <li>③効果的な情報発信ができたか。また、地域のニーズに応じた内容や方法を考えることができたか。</li> </ul>					
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不祥事の未然防止に努め、同僚性・チーム力を高め、不祥事防止の徹底を図る。</li> <li>・児童・生徒の安全と健康を守り、計画的・組織的な学校安全を推進する。</li> <li>・ワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、教員の働き方改革を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①未然防止に繋がる情報共有や注意喚起を各学部・分掌で計画的に取り組む。</li> <li>②学校防災について、再確認、再点検を進め、学校の防災力を高める。</li> <li>③分掌・学部業務の削減と効率化・簡略化を進める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①注意喚起のタイミングや方法を検討し、効果的な情報共有や発信を行う。</li> <li>②防災教育を含めた学校防災の取り組みを推進する。また、地域にも発信する。</li> <li>③業務内容を再検討し、削減できるものは削減していく。また、各種面談記録の効率化・簡略化を図る。ICT機器を活用したり、面接の際の項目や観点を整理し、明確に示したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①各学部・分掌で、効果的な情報共有や発信を行い、未然防止に繋がったか。</li> <li>②防災教育を含めた学校防災の取り組みを推進できたか。また、地域に発信できたか。</li> <li>③業務内容の削減はできたか。また、効率化・簡略化を進めることができたか。</li> </ul>					